

会 議 録

会議の名称	第2回小金井市保健福祉総合計画策定委員会	
事務局	地域福祉課	
開催日時	平成23年1月26日(水) 午後7時から午後8時10分まで	
開催場所	小金井市市民会館 萌え木ホールA会議室	
出席者	(委員) 山口委員長、竹内副委員長、伊藤委員、高氏委員、中里委員、平野委員、井爪委員、齋藤委員、森田委員、矢野委員、鈴木委員、木所委員 (事務局) 福祉保健部長、地域福祉課長、障害福祉課長、介護福祉課長、健康課長、作業部会職員、コンサルタント会社研究員	
欠席者	0人	
傍聴の可否	○可 ・ 一部不可 ・ 不可	
傍聴者数	0人	
傍聴不可等の理由等		
会議次第	1 会議開始にあたって ① 配布資料について ② 第1回会議録について 2 アンケート調査票の修正案について 3 質疑応答 4 各専門部会の進捗状況について 5 今後のスケジュールについて 6 その他について	
提出資料	1 第1回策定委員会会議録(案) 2 アンケート調査票(修正案) 3 調査票(案)に関する修正意見と修正方法について 4 策定スケジュール	…資料(1) …資料(2) …資料(3) …資料(4)
その他		

会 議 結 果

	<p>1. 会議開始にあたって</p> <p>① 配布資料について</p> <p>— 配布資料の確認 —</p> <p>② 第1回会議録について（資料1）《承認》</p> <p>— 「異議なし」の声あり —</p>
<p>コンサルタント</p>	<p>2. アンケート調査票の修正案について</p> <p>※アンケート調査票（修正案）（資料2）、調査票（案）に関する修正意見と修正方法について（資料3）に基づき説明</p>
<p>山口委員長 木所委員</p>	<p>3. 質疑応答</p> <p>ご意見ご質問があれば、挙手をお願いしたい。</p> <p>前回の意見が反映され、随分、分かりやすくなったと思う。その中で、12番の設問の選択肢で、「比較的町内の人とも付き合っているが、行事・活動等にはほとんど参加しない」という方は結構多いと思う。この方たちはその他になるのか、もう1つ項目を増やしたほうがいいのかと思う。</p>
<p>コンサルタント</p>	<p>その他には、実際、書かれないケースも多いと考えられるので、かなりの方がいらっしゃるならば、選択肢を追加してもいいとは思いますが。</p>
<p>齋藤委員</p>	<p>親しく付き合っているか、行事・活動等に参加しているかという2つの質問が一緒になっているから良くないのだと思う。組み合わせがたかさんできるが、設問A、Bに分けると答えやすいのではないかと。</p>
<p>事務局</p>	<p>多分、増やしたほうが分かりやすいと思うので、調整させていただきたい。</p>
<p>齋藤委員</p>	<p>付き合い方と、行事等の参加の仕方は違う方がいらっしゃると思うので、いろいろな組み合わせができてきても不思議はないと思う。</p> <p>— 「賛成」の声あり —</p>
<p>山口委員長 平野委員</p>	<p>では、スペースがあれば、検討していただきたい。</p> <p>問22-（2）、（3）の質問の仕方は分けて聞いているので、この設問の仕方はいいと思うので、問8-（1）で3、4を選んだ人は問9へとするなら、問9の上にも「問8-（1）で3、4を選んだ方にお尋ねします」と附記したほうがいいのかと思う。特に問8、問9と変わっているので別の設問と思って、回答される方が出て来る懸念がある。他にも、問23</p>

コンサルタント	<p>と問24、問27と問28も同じなので、修正案としてご提案する。</p> <p>問9は問8の枝番ではなく、新たな設問なので、すべての方対象の設問である。他の問24、問28も同様である。</p>
平野委員	<p>問8の3、4の人だけが問9へという趣旨ではないのか。</p>
高氏委員	<p>私は、問8で1、2を選んだ人は問8-(2)に行き、その後問9を忘れるのではないかと反対に思ったので、3、4を答えた人は問9へと矢印があるから、問8-(2)の下にも矢印を入れると全員問9に行くのかなと思った。他も全部この形になっていて、疑問に思っていた。</p>
齋藤委員	<p>この形だと、私みたいに誤解する人もいると思う。</p>
コンサルタント	<p>矢印にするか、すべての方にお伺いしますと書くか、分かりやすくなるように検討する。</p>
矢野委員	<p>多分、3、4を選んだ人は問8-(2)を答えずに問9へ行ってくださいという表現だと思うので、(2)に「1、2を選んだ方のみにお尋ねします」として、問9へという表記を無くしたらいいのではないかと。</p>
平野委員 コンサルタント	<p>問22と同じ表現なのに、ここはなぜ問を付け加えるのかと思った。おっしゃる部分はあると思うので、どちらか分かりやすいほうをもう一度検討する。</p>
事務局	<p>アンケートの3ページ、問6に枝番(1)が入っているので削除してほしい。7ページ、問21の下の用語の頭に*を付けて、他と用語解説と合わせる形にさせていただきたい。</p>
矢野委員	<p>私が修正意見を出した問6-(2)の要援護者の状況把握は削除されているが、今後どういう形で把握されるのか。それがあって、どういう福祉計画を立てるかになると思うので、何か、実態を把握する手段を考えたほうがいいのではないかと。</p>
コンサルタント	<p>障害のある方あるいは高齢者へのアンケート、さらに昨年、次世代のアンケートを採られていると思うので、その辺りで把握させていただきたいと考えている。</p>
山口委員長	<p>他に何かあるか。</p>
事務局	<p>本日、新たにいただいた意見を基に修正した内容については、次回委員会だと間に合わないので、委員長と事務局に一任という形で調整させていただき、承認という形というか完成版としてご送付させていただきたいと思っているが、よろしいか。</p> <p>— 「異議なし」の声あり —</p>
事務局	<p>今後、そのような形で進めさせていただく。</p> <p>4. 各専門部会の進捗状況について</p>

事務局	※各部会等の進捗状況を、事務局担当課長より報告
山口委員長 木所委員	ただ今の報告に対し、質問等あれば、お願いしたい。 数々のアンケートを同一時期に行うが、コンサルタントとしては回収率をどの程度予想しているのか。回収率を上げるような策を考えているのか、お聞きしたい。
コンサルタント	分かりやすく答えやすい紙面づくりを心掛けていることは当然である。一般的に当事者の方だと回収率は高いが、例えば、今回の地域福祉計画の一般市民対象となると、目標としては4割程度を考えている。4割届かなかつたら駄目というわけではないが、昨今、個人情報の関係等で回収率が低くなる傾向にある中で、その辺りできればという形では考えている。高齢者、障害者の方に関しては、もう少し回収率は上がればと考えている。 配布、回収に関しても、土日を最低2回は挟む形で20日間程度取る形で、期間等も考慮している。
事務局	市報及びホームページ等でも広報活動に努め、それでもって回収率を上げていきたいと考えている。
高氏委員	65歳になるとピンク色の袋に入ったものが来るが、設問がすごく易しすぎて、65歳以上の方はそんなにみんな駄目なのかという感じの内容であった。
事務局	生活機能評価のアンケートで、特定高齢者等を把握するためのもので、あれで状態が良くないという方については、地域包括支援センター等からアプローチさせていただき、介護予防につなげるようなプログラムにお誘いするという趣旨のものである。今回とは別のものである。
高氏委員	すみません。ただ、あれを見てとてももったいないと思ったので、ご検討いただければと思った。
福祉保健部長	国が決めたもので、全国统一されたものである。介護状態になるリスクの高い方を抽出し、早めに介護予防のためのサービス等にお誘いし、展開していこうという趣旨のものである。どれだけ効果が出ているかと言われると、確かに言われたように疑問はあるので、見直す時期が来るのかもしれないとは思っている。
竹内副委員長	木所委員がおっしゃったのは回収率を上げて、いい内容の資料が集まるよというご意見と思う。参考だが、小金井市の長期計画を策定する際、知らない人が多いということで住民説明会を開いたとき、何とか計画と言われると身構えるという意見が出たため、「小金井しあ

	<p>わせプラン」というサブタイトルをつけて工夫をした。事務局とコンサルさんで、今日の意見を参考にさせていただき、例えば、表紙だけ色を白ではなく目立つ色にするとか、市民が書こうと気持ちを引き出せるような、回収率が上がるような策を、お金を掛けないで工夫していただけるといいと思う。</p>
中里委員	<p>先ほどの話に戻るが、一般の方へのアンケートは、ある程度世代や職業等を考えてなのか、無作為抽出で発送するのか。</p>
事務局	<p>一般市民対象のアンケートは、どの計画も無作為抽出である。</p>
中里委員	<p>若い方など関心がないと難しい部分もあり、それで、費用対効果は悪くなるのかもしれない。</p>
福祉保健部長	<p>年代別にうまく振り分けられないかなど、検討したこともあるが、1,000とか2,000とかサンプルで行うため、むしろ無作為抽出のほうが結果的に、客観的なものができるように思う。多くのアンケートがあるため、1人の人に重複しないような配慮もしている。</p>
伊藤委員	<p>一般の2,000人は無作為とはいえ、世代間とか福祉分野に関心があるとか、何か配分はあるのか。どういう方法なのか。</p>
福祉保健部長	<p>全くの無作為である。</p>
伊藤委員	<p>年代の偏りが出るのではないか。</p>
福祉保健部長	<p>11万人の住民票を5番目、10番目、100番目とかという形でずらっと選んで行くという抽出の仕方があり、最終的には客観的な数字が出て来る配分になる確立の方が高い。</p>
森田委員	<p>子どもの分野の保健福祉、また、子どもの分野の部会はないのか。</p>
福祉保健部長	<p>子どもに関する施策は「のびゆく子どもプラン」というのを作っており、そちらで動いているため、残念な部分もあるが外している。ただ、地域福祉計画の中には、細かなところまでではないが、子どもや外国人の方たちも含めた形で作ることはなるかと思う。</p>
	<p>5. 今後のスケジュールについて ※策定スケジュール（資料4）に基づき説明</p>
山口委員長	<p>スケジュールについて、ご質問等あるか。</p>
平野委員	<p>2～4月は、この部会はないと理解していいか。</p>
事務局	<p>はい。策定委員会の1月下旬が①となっているのを②に修正、また、高齢者専門部会と健康推進専門部会の5月が③となっているのを②に修正をお願いしたい。訂正したものを再度送付させていただく。</p>
矢野委員	<p>報告書が出て素案作成して、パブコメまでが3回でここまで行くの</p>

事務局	<p>か。それとも、アンケート集計で冊子になるが、これをつくるところまでがパブコメのところとなるのか。</p>
事務局	<p>アンケート報告書が出来上がるのが4月末から5月で、それに基づき、5月の委員会までに事務局の方で素案を作成し、それに基づきパブコメまで検討をしていただく形となる。</p>
矢野委員 事務局	<p>3回でパブコメまでのたたき台を作り上げるということでいいか。</p> <p>そうである。事務局の方でかなりのところまで、議論をしていただく材料はきちんと作らせていただきたいと思います。</p>
竹内副委員長	<p>矢野委員が言われたように大変だと思う。委員の中で起草委員を決めて集中的に作るというのも大変なので、部局とコンサルさんでたたき台を作ってもらい、ここで議論してたたいてやっていく方法しか、スケジュールの関係ではやむを得ないのかなと思う。</p>
鈴木委員	<p>4回、5回目の間くらいで必要に応じて増やしていただくなり、意見聴取をしていただくなりということの柔軟性はあるのか。</p>
事務局	<p>予算が絡む部分もあるが、実際、ごみ関係の検討委員会で回数が足りず増やさせていただいたこともあり、より良いものを作らなければいけないと思っているので、柔軟に対応していきたい。</p>
山口委員長 福祉保健部長	<p>他にはよろしいか。</p> <p>前回の計画をベースにし、それをさらに安定させる形で作り込みをさせていただきたいと思っている。地域福祉は大きなテーマであり、今の社会の中では最も大切な施策の1つと思っている。</p>
	<p>昨年の末あたりから年始にかけて、朝日新聞、毎日新聞には特集の報告記事も連載されている。朝日新聞には「孤族の国の私たち」ということで、現在、第2部の連載が始まっている。家族がいないことを前提に私たちは考えなければいけない時代に来ているのではないかという問題提起がされている。毎日新聞には「ご縁がありまして」ということで、地域の中で、いろいろな形で人がかかわり合い助け合いをして、それにより、家族からやむを得ず離れなければいけなかった子どもたちが成長していく過程をルポタージュしている。</p>
	<p>そういう意味では、地域に求められている施策だと強く思っている。ぜひ、皆様の中にもいろいろな思いがあると思うが、地域福祉計画、保健福祉の総合計画の中に、その思いの丈を盛り込んでいただきたいと思います。</p>
	<p>私はここで定年となるが、今から手ぐすねを引いて新しい場面に登場しようとするもっと優秀な若い職員も大勢いるので、ぜひ、ご指導を賜りたいと思う。今後とも、どうぞよろしくお願いしたい。</p>

山口委員長	それでは、本日の会議はこれで終了する。
-------	---------------------